



▲「子ども安全見守り隊」が、地域の子どもの安全・安心を見守ります



▲笑顔あふれる「男の料理教室」。シルバー世代が主役です

地域の話題

大草校区

笑顔とやさしさあふれるまち

市民館を拠点とし、シルバー世代の生きがいづくりに取り組んでいる大草「コミュニティ協議会」から
お便りが届きました。



大草熟年友の会（熟友会）

大草熟年友の会は、市民館を拠点として、さまざまな活動に取り組んでいます。毎月、第2金曜日は例会「お茶のみ会」を開催し、ゲームをしたり講演を聴いたりといろいろなイベントを企画しています。最近では、健康手踊り「これから音頭」を簡単にアレンジし、熟友会の応援歌として活動前に踊っています。

日（金）、
1月23



▲健康手踊り「これから音頭」を披露しました

田原文化会館で開催された芸能発表会では、この健康手踊りを初披露しました。最初はとても緊張していましたが、観客も一緒になって会場全体が盛り上がり、最後は笑顔でやり遂げました。

子どもたちの安全・安心のために

熟友会のメンバーが中心となり、平成19年に「子ども安全見守り隊」を結成しました。現在18名で子どもたちの登下校の見守り活動を行っています。毎年4月には大草小学校の子どもたちとの顔合わせ会があります。

隊員の中には小学校の卒業式に主体的に参加し子どもたちの成長を見届ける人もおり、活動を通してさまざまなつながりが生まれています。

シルバー世代の「男の料理教室」

定年退職後の時間を有意義に使って家庭サービスをしようと、シルバー世代が集まり「男の料理教室」を年間6回開催しています。参加者は、毎日昼食の準備をしている人から、炊飯器のスイッチの入れ方を知らない人までさまざま。家庭菜園で作った自慢の野菜などを持ち寄り、料理を楽しんでいます。今年度の市民館まつりでは、だしのきいたシンプルな「男のうどん」を提供し、皆さんから「おいしい」と褒めていただきました。回を重ねるごとに手際も良くなり、料理の楽しさも増してきます。分量や手順が違ってもおいしい男の料理ができあがり、自然に笑みがこぼれます。

大草校区では、これからも参加者同士の交流を深めながら笑顔があふれる活動を進めていきます。

